

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室 1・2」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
そだちの丘 育ちサポート係 TEL 30-4410 FAX 30-4433 E-mail: sodachi.sec@matsusaka.ed.jp

世界を変えるか、5つの学習観点(Oxford Univ. Press より)

- 1 By communication
自分の考えとの相違点を他の人に説いたり、伝えたりするコミュニケーション力
- 2 By thinking critically
既に知っている知識や情報を活用して、批判的（指摘ではない）な思考力の育成
- 3 By thinking creatively
知識や情報を活用して問題を解決する力、新しい物事を創造する力の育成
- 4 By working together as known as collaborating
文化の異なる人々とアイデアを共有し、協働して課題の解決を成し遂げること
- 5 By caring about the world
世界（世の中）に関心を持ち、互いを思いやり、勇気づける態度を養うこと

※' 21st Century Skills' に基づく。' 21st Century Skills' は、元々、アメリカで始まった教育理念で、現在は、イギリスやカナダ、オーストラリア等に広がっている。

この5つは、イギリスにあるオックスフォード大学が、学校教育において大切にしている教育理念でもあります。

私は、夏休みに母校の大学で、ロンドン大学出身のイギリス人大学講師の講演を聴く機会がありました。その演題は、' Critical and Creative Thinking' で、正にオックスフォード大学が大切にしている理念と共通するものでした。久しぶりに100分間のEnglish Showerを浴びました。次期学習指導要領では、「知識・技能の習得だけでなく、それを活用する力の育成」や「主体的・対話的で深い学び」が示されていますが、講演の内容と共通する部分が多々感じられました。欧米では、すでにこのような理念にもとづく教育実践が行われています。



母校を訪れたのは、何十年ぶりのことだろう。キャンパス内の校舎は、モダンなガラス張りの教室に様変わりしていました。久しぶりに懐かしい先生や旧友と出会い、昔話に花が咲き、お互いに年をとった姿に経年を感じ、また何年先かわからないが、健康で再会できることを誓い合いました。

(小筆 邦昭)

研修講座報告その3～研修講座の様子をご紹介します！～

B-9 児童生徒理解「障害があるって本当？」

～母子関係、不登校、そしてユニバーサルデザインまで～

講師 阿久澤 栄 先生



衝動的行動を引き起こす要因や、どのような関わりが有効であるか等、具体的事例をあげながらお話しいただきました。「当たり前」や「自分自身の常識」で片づけないこと等、日々の教師の構えについても教えていただきました。

B-16 郷土教育「郷土の偉人に学ぶ教育の実践から」

講師 松本 吉弘 先生

小山先生（射和小）上月先生（阿坂小）鈴木先生（豊田小）の「本居宣長」「松浦武四郎」「蒲生氏郷」の冊子を活用した実践や、松本吉弘先生のご講演から、郷土の偉人に学ぶ郷土教育をどのように進めていくかについて学び合うことができる講座となりました。



B-4 情報教育「ICTを活用した授業づくり」

講師 三雲中学校 豊田多希子先生・坂口友視先生・湊川祐也先生・山崎良先生



ICTは、つきたい力の育成に役立つツール、対話を促進するツール、考えを深めるツールであること等のお話を、模擬授業でさらに具体的に示していただきました。三雲中学校の実践から、体験的に学びを深めることができる講座となりました。

A-4 体育／保健体育「子どもが夢中になる体育科授業づくり2」

講師 松本 博 先生

コンビネーションなわとびと、フラッグフットボールについてご指導いただきました。

実際の授業でおこなうことができる具体的な活動方法を教えていただき、体験を通して学ぶことができました。



B-18 特別支援教育Ⅱ「教室でできる特別支援教育～環境づくり・関係づくり」

講師 曾山 和彦 先生



「ほつれた糸ではなく、ハンカチを持ち上げる」というハンカチ理論をもとに、その指導に役立つ知識や技術をわかりやすく教えていただきました。特別支援教育の観点から、環境づくり、関係づくりについて具体的に考えることができる講座となりました。